

# 進路だよい



いちがんとなって  
目標の進路達成

## 私学入試まで19日 / 公立前期まで24日

中学校最後の定期テストが終わりました。冬休みが明けてからは私立・公立前期・総合支援学校の入学願書、テスト勉強と受験（検）対策を同時にやっていったという慌ただしい日が続いたと思います。願書の出願・準備については保護者の方の協力もいただき、進めることができました、あらためて感謝申し上げます。3年生のみなさん、今日からは受験（検）に向けて突き進むのみです。勉強できなかった日や時間のことは、いい意味で忘れて、とにかく前向きな気持ちになって最後まで頑張り切りましょう！

入試本番に、100%の力を発揮できる状態で臨めるか、これも入試直前の大切なポイントになります。第一に体調管理です。うがいや手洗い、マスクによる予防、教室の換気（教室内にとても分かりやすい計測器が設置されましたよね。）とともに、お風呂上がりの湯ざめやうたた寝などしてしまわないように気をつけましょう。また、生活リズムも見直してみましょう。一度くるった生活リズムを戻すには時間がかかります。入試の時間帯に脳をフル回転させるためにはと、逆算して生活リズムを整えましょう。入試は、学力だけでなく、心身の状態などを含めた総合力が結果に大きく関わります。最高の力で入試に臨めるように、健康管理に細心の注意を払いましょう。今から意識して生活しましょう！

### 進路に関わるこれからの中程（京都私立・京都公立）

1月23日～26日 **面接練習** 6時間目を面接練習とします。自分の番は何日か確認しておく。

1月24日 **公立中期願書の書き方** 指導を受けます。

前期願書書きと同様の時間になります。中期出願に際して志望校と順位を間違わないように気を付けます。

1月30日 **公立中期願書（本物）を配布**します。

中期のみ受検する人はペンで清書します。前期を受ける人は鉛筆等でうすく書いておきます。2月2日提出。

2月2日 **公立前期願書出願** 学校から一括して出願します。

2月9日 **私立入試前日指導** 受験に向けて最終確認・指導を行います。上履きが必要な学校もあります。

2月10日～12日 **私学入試** 3日間ともテストを受ける人もいます。受けない人は前期・中期に向けて勉強！

※私学の合否が連休中に分かる人も多くいます。週明けに、担任の先生に自分から報告してください。

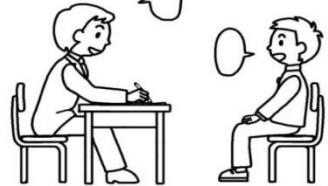
2月15日～16日 **公立前期選抜** 前期選抜合格を最大の目標として勉強してきた人もいます。全力で！

2月22日 **公立前期合格発表** 狹き門ですが、一人でも多く合格できるように祈ります。

# 面接練習で成長しよう！

冬休みに面接対策として、過去の質問事例の答えを考えもらっていました。礼儀作法についても確認しておきましょう。明日の23日（火）からの4日間で、入試で面接試験がある生徒を対象に校長先生、教頭先生、西村靖先生、井之口先生、小林先生に面接官になっていただき、第一希望の学校を想定して面接練習（第一希望の高校で面接がない場合は第二希望を想定して）を行います。面接は、ことばづかいや態度をみたり、意見を聞いたりして、その人の人柄ややる気を判断するために行われます。はっきりとしたことばづかいで、何ごとも前向きに、高校生活への熱意・意欲を表すことが大切です。過去にどんな質問がされてきたか、受験（検）生であるみなさんが勉強してきているという前提でされる質問もあると思います。面接官の先生方は、多くの受験（検）生を見てきておられます。「うそ」や「その場かぎり」はすぐにわかってしまいますよ。面接だけで合格はなくとも、不合格になる場合がありますので、筆記試験と同じに、いやそれ以上に大切に考える必要があります。今まで以上に、日頃からさわやかな身だしなみや正しい言葉づかいをこころがけましょう。

## 1年生も頑張りました ～ポスターセッション～



先週、九条塔南小学校、九条弘道小学校の5年生のみなさんを招いて、1年生によるポスターセッションが開かれました。これまでの上級生がしてきたように司会進行は自分たちで行い、発表も工夫を凝らし、練習してきた様子が分かりました。私は一部の発表を聴きましたが、早速1年生がリーダーシップを発揮している場面を見ました。あるグループで発表が始まったとき、5年生はおそらく質問ができるようにメモを取ろうとしていました。すると、「発表するから書かんと顔上げて聞いてな」と、その鑑賞態度を指摘してくれたのです。なかなかできることではありません。メモを取ることも大切ですけれど、やはり発表している人たち（の顔）を見る、目を合わせることがもっと大切です。その指摘を受けて、聴くことに徹していた5年生もえらかったと思います。質問コーナーのときにはどのグループも拍手で盛り上げようとしていました。ポスターセッションの回数が進むと、5年生の方から積極的にクイズに答えたり質問をしたりといった様子が見られました。自分たちも緊張していましたが、もっと緊張している5年生のことを気遣う姿に先輩らしさを感じました。

